

軽井沢新聞

4月号

April
2021編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語



ノンフィクション作家
よしえ
中丸 美繪 さん

綿密な取材と調査で、
人の素顔に光をあてる

チェロ奏者から指揮者に転身し、数々の音楽家を育て上げた齋藤秀雄、昭和の演劇史に名を残した女優杉村春子ら、人物に焦点をあてた数々の著作を発表。ひとりの生の歩みを浮き彫りにするため、数年をかけて関係者百数十人を取材することもある。

「ちゃんと調べないと気が済まない性格で、一行を書くのに数カ月かかることもあるんです。その人が好きか、のめりこめそうかどうかは大事ですね」

戦後の日本航空業界の父と言われた松尾静麿ら、日本航空（JAL）の草創期に働いた人の群像を書いた『日本航空一期生』（中公文庫）は、3月放送のドラマ「エアガール」（テレビ朝日）の原案になった。自身も大学卒業後から約5年間、客室乗務員として日本航空に勤務した経験がある。「いかに奮闘して会社の基礎を築きあげたか、草創期の先輩たちの話から、航空にかける熱いエネルギーを感じました」

学生時代から書くことが好きで、客室乗務員を目指したのも、世界中を巡りエッセイを書いてみたい気持ち、片隅にあったから。

『きのうのバリは…』とか書きたいなって、邪な気持ちもありました。だけど、体力は使うし、時差はあるし、当時はふらふらで書く余裕なんてなかったですね。この本を書いたことで、私のJAL時代も完結できた気がします」

妹はオペラ歌手の中丸三千繪さん。軽井沢の別荘に忙しくて来られない妹に代わり、管理人のように訪れるうち、軽井沢に惹かれていった。「東京と時間の流れが全く違うし、ストレスがなくなって落ち着くんですよね」

吉村順三の建築にずっと憧れていて、その弟子に別荘の設計を依頼。2006年に完成した家は、自然と建物が調和していると、軽井沢町が認定する「緑の景観賞」特別賞を受賞した。別荘にこもって、一気に原稿を書き上げることもあり「作家の方々が、軽井沢に集まる理由がわかりました」。

仕事の合間に、庭いじりや囲碁で息抜きする。クラシック音楽雑誌で連載中の「鍵盤の血脈 井口基成」の書籍化に向け、現在準備中。同時進行で、軽井沢にアトリエがあった洋画家の三岸節子についても、調べて書いている。



午前8時19分頃、両角さんのトーチに火がともされた。

2度の五輪を経験した軽井沢で 13人のランナーが聖火を繋ぐ

長野県内の東京オリンピック聖火リレーが4月1日、軽井沢町からスタートし、風越公園アイスアリーナから湯川ふるさと公園まで、13人のランナーが聖火を繋いだ。午前8時頃、アイスアリーナで出発式が行われ、男子カーリングで平昌五輪に出場した第一走者の両角友佑さんのトーチに火がともされた。沿道には多くの人が集まり、手を振ったり、写真を撮ったりしていた。

両角さんは「久しぶりに多くの人の前に立ち、五輪で盛り上がりつつあるという空気を感しました。1998年の冬季五輪では聖火を見る側だったので、自分が走ることになるとは思いませんでした」と感想を話した。塩沢通りを走った軽井沢町在住の土屋恒樹さんは64年



前回の東京大会から57年ぶりに、聖火リレーを務めた土屋さん。沿道には、多くの見学者が訪れた。

の東京五輪で、川中島から軽井沢の馬術競技会場まで走った聖火分火リレーランナーの一人。「馬術競技のために、軽井沢まで聖火分火

59件のパブリックコメント 環境基本条例案、審議会が答申

軽井沢町自然保護審議会が3月23日、会合を開き、町環境基本条例案を全会一致で了承した。条例案は、自然環境の保全・創造に関する町の基本的な考え方を定め、住民や事業者、町の責務を示したもの。昨年8月に町長の諮問を受け、協議を進めていた。

4月1日、同審議会の大槻幸一郎会長と佐藤一郎副会長が、町長に答申書を提出。大槻会長は、59件の意見があったことについて「条例案に対する関心の高さを示している。環境に対する価値観の違いから、多様な意見が出ていた」と話した。町は議会6月会議に、条例案を提出する準備を進める。

リレーがあったという歴史を皆に伝えたいです」と語った。聖火リレーの様子を沿道で見学した小山寛登さん（町内在住）は「大変な時期だけど、いよいよオリンピックが来るんだなと実感しました」と話していた。

（町内在住）は「大変な時期だけど、いよいよオリンピックが来るんだなと実感しました」と話していた。



町長に答申書を出す自然保護審議会の大槻会長（中央）。

軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ

※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

三井のリフォーム5つの約束

1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

リビング・ダイニング 寝室・和室・書斎 洗面・トイレ
キッチン・浴室 外観・エクステリア 水漏れ・雨漏り

あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。

軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業

三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42 (営業時間) 9:00~18:00

見積り無料!! 悩んでいないで、まずはお電話ください!!

(0120) 278-321



全国第1位の社長表彰をいただきました。



WEBで検索! 三井のリフォーム軽井沢店

www.karuizawa-reform.com

メール karuizawa@mitsui-reform.com

女性建築士がママ目線で考えた 高性能な家

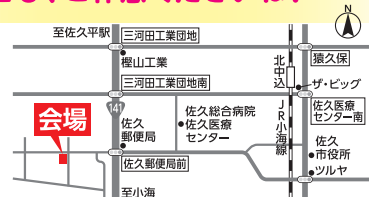


モデルハウスの性能
断熱性能 (UA値0.29)
耐震性能 等級3
気密性能 (C値0.61)
ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH)

ぜひ、ご体感くださいね!



↑詳しくは
コチラ



ご予約はこちら 大井建設ホームページ

http://www.kosodate-oen.com

0120-33-4152

メールの方はvip@ooi-kensetsu.co.jp

大井建設工業

子育て世代の安くていい家 専門店 株式会社

■本社/御代田町馬瀬口1670-74